

連合滋賀と滋賀県社会保険労務士会とが意見交換会を開催

2014春季生活闘争の一環として、今回初めて、連合滋賀と滋賀県社会保険労務士会との意見交換会を、2月5日(水)、琵琶湖ホテルにおいて開催しました。

意見交換会には、連合滋賀から山田清会長をはじめ組織・労働条件委員会担当の役員5名が出席、社労士会からは、中岡研二会長をはじめ副会長、事務局長など5名が参加され、連合滋賀、社会保険労務士会がそれぞれの概要、活動内容等について報告し共通理解をはかりました。

社会保険労務士会は、企業における採用から退職までの労働保険諸法令に関する手続きや労働相談、年金相談など広範囲におよぶ業務をされています。

企業のあり方や労働者の働き方や意識が変化したこと、職場において経営者と労働者との間で様々なトラブルが生じているなかで、社会保険労務士、連合滋賀の構成組織・単組・支部の役割は大きく変わっています。

今後も、引き続き、社会保険労務士会と連携をはかります。



賃金水準の復元、非正規労働者の労働条件向上をめざし意思統一 2014 春季生活闘争へ向け 中小労組連絡会議が「学習会」

連合滋賀中小労組連絡会議は、2014春季生活闘争に向けた学習会を2月17日(月)に彦根勤労福祉会館、18日(火)にライズヴィル都賀山にて開催しました。

両日の学習会では、連合本部中小労働対策局長の松本喜成氏から、中小労組の交渉支援を目的とした「2014春季生活闘争中小労組元気派宣言」に基づいて、単組での具体的な要求書の作成、交渉の進め方、賃金交渉にむけた基礎的な知識や賃金カーブの維持の取り組みなどに



ついて解説をいただきました。

中小企業の労働組合がおかれている状況は厳しいですが、労働条件の格差は、生活水準の差であることを認識し、少しでも格差を是正すべく交渉を進めなければなりません。同時に、格差は正が労働力の流出を防ぎ優秀な人材確保につながり、ひいては、企業の維持・成長につながることを労使で確認することが必要です。

連合滋賀中小労組連絡会議は、労働者の雇用を守るとともに、低下し続ける賃金労働条件の復元をめざし、賃金カーブの維持と底上げ・格差是正を勝ち取ることをめざし、取り組みを強めます。



彦根勤労福祉会館では28人が参加



ライズヴィル都賀山には44人が参加



連合滋賀

日本労働組合総連合会滋賀県連合会

2014年3月17日
連合滋賀 第250号
大津市松本2丁目10-6
電話077-523-0500
発行・山田 清
編集・上田 薫
(定価 1部60円)
印刷 ユメディア株式会社

すべての働く者の処遇を改善し、 底上げ・底支え・格差是正を実現しよう！

2014 春季生活闘争総決起集会に6,000人が結集

連合滋賀は、3月8日(土)草津市「野村運動公園」において、2014春季生活闘争総決起集会を開催し、参加者6,000名の組合員の意志結集をはかるとともに、デモ行進によるアピールを行いました。

集会冒頭、連合滋賀山田会長は、「2014春季生活闘争を、「デフレから脱却し、経済の好循環をつくり出す」ことを実現するための「底上げ・底支え」「格差是正」に向けた取り組みとして位置づけている。日本の経済社会を20年にわたって痛めつけてきたデフレからの脱却をはかり、持続可能な「安心社会」を実現するため、「経済成長と整合した未来指向型の賃金決定」をしていく必要があり、社会全体に波及効果を高める運動を繰り返していかなくてはならない。賃金デフレから脱出するためにも、個人消費を着実に回復させ、すべての労働組合が月例賃金にこだわる闘いをすすめ、社会的相場を形成し、非正規、未組織労働者の賃金にも波及させる取り組みを強化する。



さらに、「成長戦略」の名のもとに「解雇の金銭解決制度」や「ホワイトカラーイグゼンプション」の導入、解雇しやすいく社員を増やす懸念のある「限定正社員」の普及、労働者保護の後退を招くおそれのある労働者派遣法の見直しといった、労働者を保護するルールの改悪に反対し、すべての働く労働者がディーセントワークの実現のために春季生活闘争の勝利をめざして総力で闘いぬこう。」と訴えました。

このあと、三日月大造民主党県連代表、小坂淑子民主党県連代表から激励の挨拶を受けた後、松元光彦連合滋賀事務局長から情勢報告を行い、吉田守中小労組連絡会議事務局長、非正規労働者の立場から、森千歳さん(自治労湖南市臨時嘱託労組)と南牧子さん(情報労連NT



T労組滋賀分会)からそれぞれ決意表明を行いました。その後、後藤大輔青年委員会委員長による集会アピールを採択し、集会最後には、女性・青年委員会によるRS J38 (RengoShigaJosei38)による「希望のフォーチュンクッキー」を歌って踊って、「3.8国際女性デー」をアピールしました。

集会後は、JR草津駅とアルプラザ平和堂草津までの2コースに分かれてデモ行進を行い、シュプレヒコールを上げながら、市民に連合の要求と運動への理解をアピールしました。



左から松元事務局長、中小労組吉田事務局長、自治労の森さん、情報労連の南さん



3.8国際女性デーアピール(希望のフォーチュンクッキー)



男女ともにいきいき働きたい！ 3.8 国際女性デー

「3.8国際女性デー」をひとりでも多くの方に知ってもらいたい！インパクトのあるアピールをしよう！と検討し、「連合滋賀2014春季生活闘争総決起集会」で「AKB48の恋するフォーチュンクッキー」を替え歌にしてアピールを行いました。



希望のフォーチュンクッキー RSJ 38 (RengoShigaJosei 3.8)

仕事も家事も好きだから うまく両立していききたい 男女が共に輝ける社会 Yeah! Yeah! Yeah!
世界を見れば大勢の 輝く女性がいるんだもん 地味な花も輝けるかしら Yeah! Yeah! Yeah!
仕事も育児も家事も 趣味だって楽しみたい 欲張りかもしれないけど
女性たちが動き出す 止められない今の気持ち カモン カモン カモン カモン ベイビー
助け合って 輝くワーキングライフ! 未来は きっと輝いている Hey! Hey! Hey!
声を出すのは 明日を変えるため みんなの気持ちを伝えて 明日を 今日よりもよくしよう
Hey! Hey! Hey! Hey! Hey! Hey!
人生捨てたもんじゃないよね あっと驚く奇跡が起きる あなたとわたしが支えあえる予感

ぼくたちだって育児したい けどちょっとびり自信ない 家事育児は妻にまかせきり No! No! No!
仕事が忙しいなんて 男の子は言うけど 両立がアドヴァンテージ
いつだってバランスだよ イクメン代表1位めざす プリース プリース オーベイビー
ぼくからも見て 変化のフォーチュンクッキー! その殻 さあ壊してみよう Hey! Hey! Hey!
先の展開 神様も知らない 笑顔のフォーチュンクッキー
今より ポジティブになろうよ Hey! Hey! Hey! Hey! Hey! Hey!
家庭は愛で溢れているよ 職場も愛で溢れているよ 明るい社会が待っていると思う



カモン カモン カモン カモン ベイビー 協力して 働くフォーチュンクッキー!
未来は そんな悪くないよ Hey! Hey! Hey!
ツキを呼ぶには 笑顔を見せること 希望のフォーチュンクッキー
イクメン 今日よりも増やそう Hey! Hey! Hey! Hey! Hey! Hey!
人生捨てたもんじゃないよね あっと驚く変化を起こせ 笑顔があふれる社会になる予感

決起集会の後は、JR草津駅前に移動し、道行く人々に「国際女性デー」や「女性も男性もいきいきと働き続けることができる社会」をめざしマイクアピールをしながら、女性デーのシンボル「バラ」の花にちなんで「バラの香りの入浴剤」と一緒に5,000セットのチラシを配布しました。



「3月8日は国際女性デー」とは

1857年、アメリカ・ニューヨークの工場が火事で多くの女性労働者が亡くなりました。これに対し、アメリカの女性たちは低賃金と劣悪な労働条件に抗議し、集会を開いたのが3月8日でした。そして20世紀初頭の3月8日、参政権や労働条件の改善などを求めて、パン（賃金・労働条件の向上）とバラ（女性の尊厳・人権の確保）をシンボルに、デモを行いました。こうして3月8日は国際女性デーとして世界的に広がっていき、国連でもこの日を「国際女性デー」と定めています。現在では国際的に広く一般女性団体などによって、各種の行動が行われています。

「労使関係のあり方」をテーマに 滋賀経済産業協会と意見交換会を実施

1月27日(月) 連合滋賀は「労使関係のあり方」をテーマに、(一社) 滋賀経済産業協会との意見交換会を開催しました。連合滋賀からは、山田会長をはじめ三役12名、滋賀経済産業協会からも、坂口会長をはじめ12名が出席しました。

最初に、山田会長から坂口会長に、雇用の安定、格差是正と処遇改善に向けて「2014年春季生活闘争に関する要請書」を手交しました。

講演では、労働政策研究・研修機構の労使関係部門統括研究員の濱口桂一郎氏より「今後の労使関係のあり方を考える」と題して講演をいただき、「日本型雇用システムにおいて、職務、労働時間、勤務地が原則無制限新卒一括採用「入社」が確立されてきたが、高齢化・女性の進出、グローバル化等で「正社員」が縮小され「非正



連合滋賀山田会長から経産協口会長に要請書を手交

規労働者」が増大してきた。規制改革会議で「ジョブ型正社員」の雇用ルールの整備や労働時間法制の見直しを提起しているが、求められているのは、「規制改革」ではなく、「システム改革」である。正規雇用者と非正規雇用者間の公平な処遇体系を実現するために企業や職場の集団的な話し合いの場をどのように構築すべきかを検討すべきである。」と提起いただきました。



濱口桂一郎統括研究員

デフレからの脱却には賃金引上げと雇用の安定が不可欠 経営労働フォーラム2014を開催

1月30日(木)、クサツエストピアホテルにおいて、連合滋賀・滋賀県・(一社)滋賀経済産業協会との共催による「経営労働フォーラム2014」を97名の参加のもと開催しました。



経団連 遠藤 和夫 主幹



連合 須田孝 総合労働局長

主催者を代表して滋賀県労働雇用政策課矢野浩一課長よりあいさつがあり、その後、(一社)日本経済団体連合会労働政策本部の遠藤和夫主幹より「2014年版経営労働政策委員会報告について」、また連合本部須田孝総合労働局長より「2014年版連合白書について」それぞれ解説が行われました。時局講演として滋賀大学経済学部荒井壽夫教授から「雇用の多様化とフレキシビリティの日本的展望」と題して講演が行われました。

(一社)日本経済団体連合会、日本労働組合総連合会からの、解説では、下記の概要で考え方が示されました。《経団連》

- 2014年労使・協議における経営側のスタンスとして、
1 労使パートナーシップ対話の充実
2 総人件費については、自社の付加価値額の増加率を踏まえたうえで決定

- 3 企業収益の改善を、設備投資や雇用の拡大、賃金の引き上げに繋げていく。

《連合》

- 2014 春季生活闘争の課題として、
1 月例賃金の引き上げにこだわり、経済成長と整合した賃上げの実現
2 非正規労働者を中心に、すべての労働者の処遇改善の実効性を高める。
3 企業規模間の賃金などの格差是正のために構成取引の推進をはかる
4 ディセントワーク実現に向けて、ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組む。
5 労働者派遣法、労働契約法、高年齢者雇用安定法の今後の取り組みを踏まえ、「働くことを軸とする安心社会」を実現する。

